

現場編集長CALSMaster

黒板作成ツールマニュアル

はじめに

この度は「現場編集長 CALSMaster」をご利用いただき、誠にありがとうございます。

本マニュアルは「現場編集長 CALSMaster」（以下、本製品と表記します。）の『黒板作成ツール』の操作方法についてまとめられています。

お使いになる前にご一読くださいますよう、お願い申し上げます。

著作権・商標

© 2017 DATT JAPAN Inc.

ダットジャパン株式会社 <https://www.calsmaster.com/>

このソフトウェアの著作権は、ダットジャパン株式会社にあります。

※このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用・複製することは、禁止されています。

※このソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

目次

1. 黒板作成ツール.....	1
1-1. 黒板を作成する.....	1
1.1.1. 「黒板作成ツール」ボタンから作成.....	1
1.1.2. 写真管理ツールの写真箱から作成.....	3
1-2. 黒板の内容を編集する.....	5
1-3. 黒板の表示設定を変更する.....	12
1-4. 黒板を削除する.....	13
1-5. 黒板を複写する.....	14
1-6. 黒板のレイアウトを差し替える.....	15
1-7. 黒板の情報を一括入力する.....	16
1-8. 工種階層の名称を変更する.....	17
1-9. 工種階層を削除する.....	18
1-10. 黒板を土木版カメラアプリに転送する.....	19
1.10.1. 黒板データ転送操作（Wi-Fi 転送）.....	19
1.10.2. 黒板データ転送操作（iTunes で転送）.....	21
1-11. 黒板データの一覧を全階層で表示する.....	23
1.11.1. 黒板データ一覧を全階層で表示する.....	23
1.11.2. 黒板データ一覧を絞り込む.....	24
1-12. 起動時のエラーについて.....	25
1-13. 黒板のレイアウト選択画面.....	26
1.13.1. レイアウトをエクスポート(出力)する.....	26
1.13.2. レイアウトをインポート(取り込み)する.....	28
1.13.3. レイアウトを新規作成・編集する.....	30
1.13.4. レイアウトを削除する.....	32
1.13.5. 標準レイアウトを復元する.....	34
1-14. 黒板レイアウト作成ツールについて.....	35
1.14.1. 画面項目の説明.....	35
1.14.2. オブジェクトプロパティ詳細.....	38
1.14.3. 黒板レイアウトを作成・編集する.....	41

1. 黒板作成ツール

黒板作成ツールとは「現場 DE カメラ 土木版」(以降、土木版カメラアプリと表記します。)で使用する電子小黒板のデータを作成して連携するためのツールです。以下に使用方法を示します。

1-1. 黒板を作成する


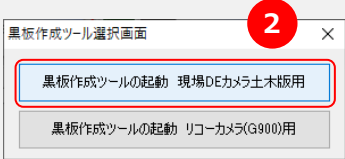
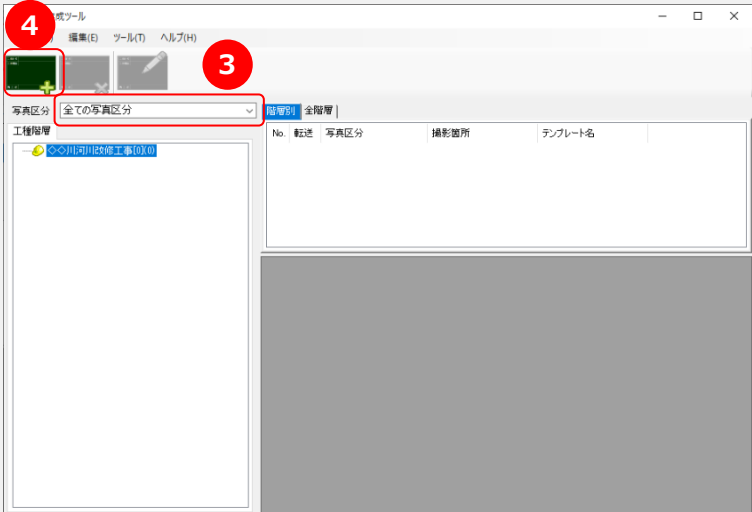
黒板作成ツールの黒板作成方法は2つあります。

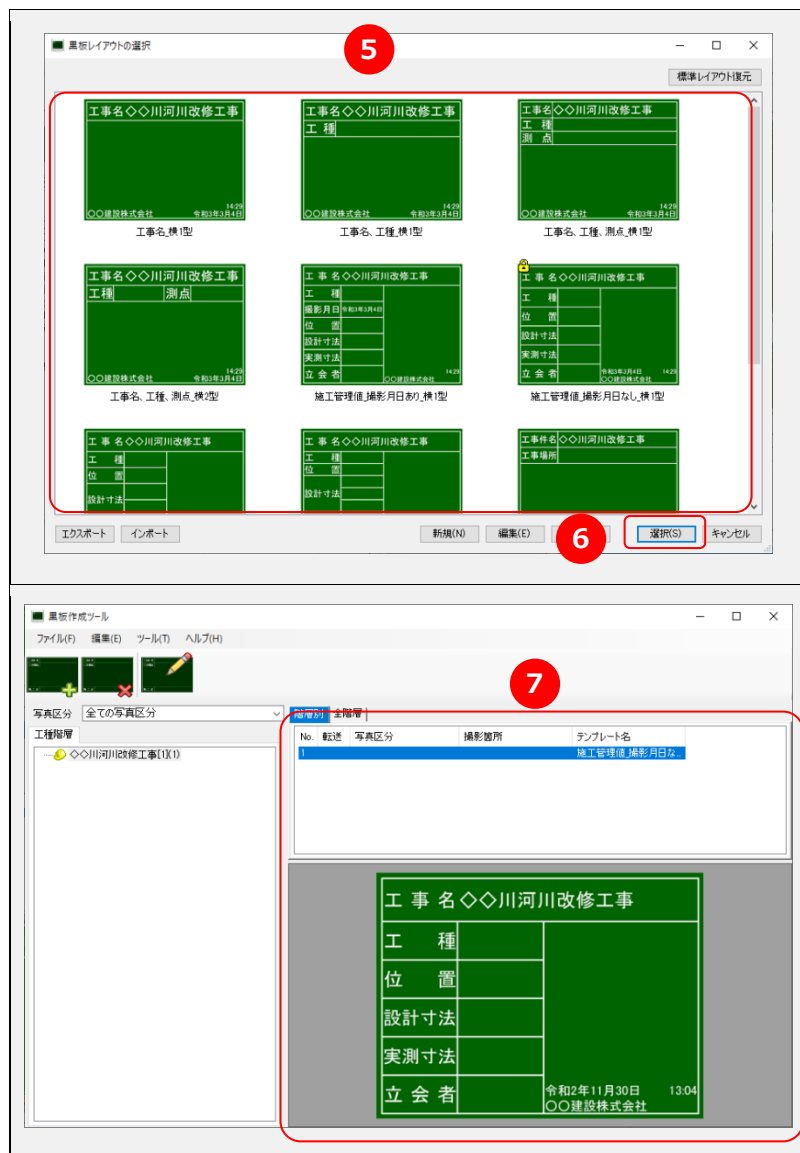
- ① 「黒板作成ツール」ボタンから作成
- ② 写真管理ツールの写真箱から作成

上記2つの違いについて説明します。

1.1.1. 「黒板作成ツール」ボタンから作成

工事管理画面の「黒板作成ツール」ボタンをクリックすると、黒板作成ツールが起動します。

画面イメージ	項目
	<p>① 対象工事を選択後、「黒板作成ツール」ボタンをクリックします。</p> <p>※対象工事の適用区分によっては起動できません。</p> <p>《起動できない適用区分》</p> <ul style="list-style-type: none">・ 営繕工事(配筋連携工事含む)
	<p>② 黒板作成ツール選択画面が起動します。「黒板作成ツールの起動 現場 DE カメラ土木版用」ボタンをクリックします。</p>
	<p>③ 黒板作成ツール画面が表示されます。「写真区分」を選択した場合は、その区分を適用した黒板のみ表示されます。</p> <p>④ 「黒板の新規作成」ボタンをクリックします。</p> <p>●メニューバーの「編集」「新規黒板作成」でも同じ動作をします。</p> <p>この時、「写真区分」を選択しているとその「写真区分」の黒板が追加されます。</p>



⑤ 黒板レイアウトの選択画面が表示されます。任意の黒板レイアウトを選択します。

※複数選択はできません。

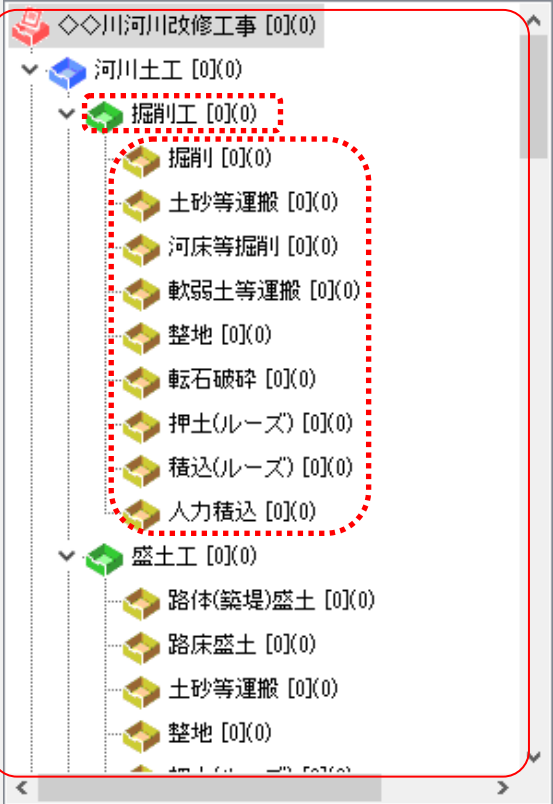
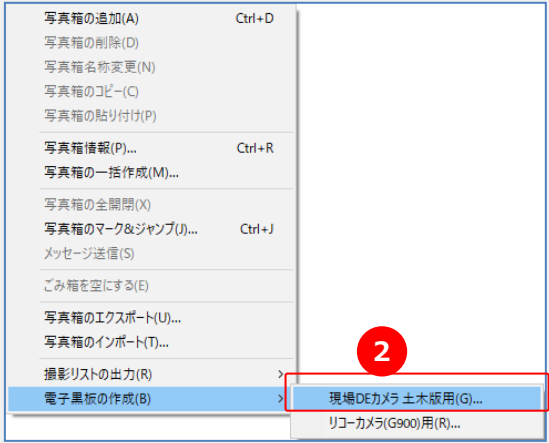
⑥ 「選択(S)」ボタンをクリックします。

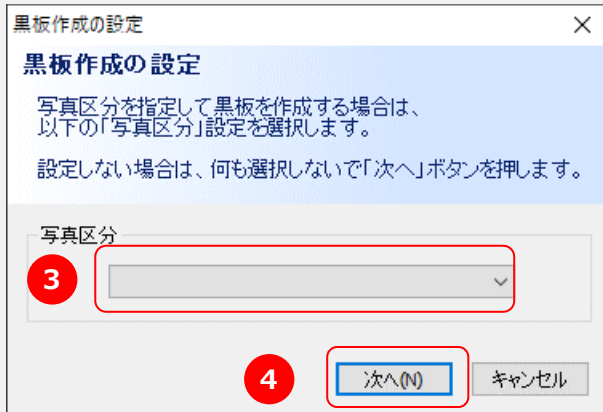
⑦ 選択した黒板が登録されます。
以降は、選択した黒板に詳細情報（適用する工種／種別／細別など）を設定して、必要な黒板を作成します。

(詳細は [1-2 黒板の内容を編集する](#)を参照)

1.1.2. 写真管理ツールの写真箱から作成

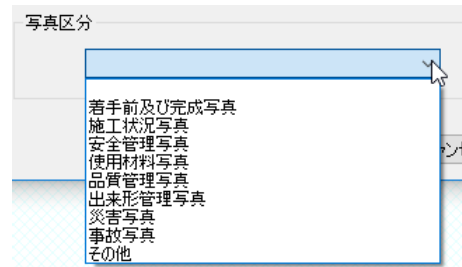
写真管理ツールで作成された写真箱の構成(工種階層)を利用して黒板を作成することも可能です。

画面イメージ	項目
	<p>① 黒板を作成したい工種階層の写真箱を選択します。</p> <p>この時に選択した写真箱配下が黒板作成対象となります。</p> <p>なお、黒板が作成されるのは選択した写真箱にぶら下がる末端の写真箱のみです。</p> <p>例：種別「掘削工」を選択した場合 細別「掘削」から「人力積込」までの黒板が作成されます。</p>
	<p>② 階層を右クリックしてメニュー表示し「電子黒板の作成(B)」―「現場 DE カメラ 土木版用(G)」を選択します。</p>



- ③ 黒板作成の設定画面が表示されます。必要に応じて「写真区分」を選択します。

《写真区分の選択肢》



- ④ 「次へ(N)」ボタンをクリックします。



- ⑤ 黒板レイアウトの選択画面が表示されます。任意の黒板レイアウトを選択します。

※複数選択はできません。

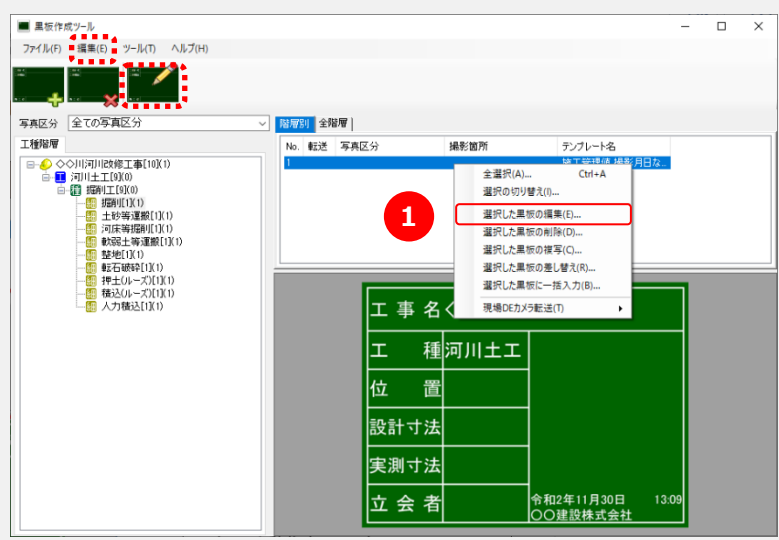

- ⑥ 「選択(S)」ボタンをクリックします。



- ⑦ 選択した写真箱に対する黒板が作成されますので、選択した黒板に詳細情報を設定します。
(詳細は [1-2 黒板の内容を編集する](#) を参照)

1-2. 黒板の内容を編集する

作成した黒板の内容を編集します。

画面イメージ	項目
	<p>① 編集したい黒板を選択（複数選択可能）し、右クリックメニュー「選択した黒板の編集」を選択すると、「黒板編集画面」が表示されます。</p> <p>※黒板を選択した状態で</p> <ul style="list-style-type: none"> ●  ボタンをクリック ●メニューバーの「編集」 ●表示されている黒板イメージをダブルクリックでも同じ動作をします。

黒板の編集以外に、

- 黒板の複写（作成済みの黒板をもとに他の黒板を作成する場合）
- 黒板の差し替え（使用する黒板レイアウトの変更）
- 黒板の削除
- 黒板の一括入力

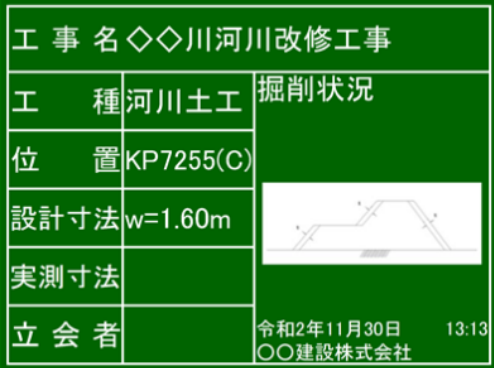
が可能です。

黒板の編集画面の詳細を説明します。なお、下記の項目は土木版カメラアプリでも編集可能です。


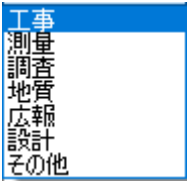
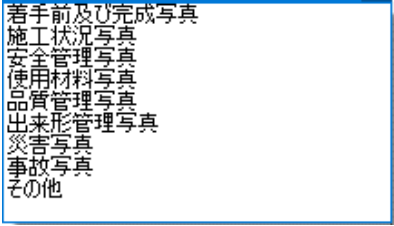
画面イメージ	項目
<p>The screenshot shows a software interface for editing a blackboard. It includes a main preview area on the left, a central form for project details, and a bottom section for common items and settings. Red dashed boxes and letters A-H highlight specific areas: A (Main Preview), B (Photo Classification), C (Work Stage), D (Photo Information), E (Construction Management Value), F (Common Item), G (Blackboard Color), and H (Bottom Bar).</p>	<p>A 黒板プレビュー部</p> <p>B 写真分類</p> <p>C 工種階層</p> <p>D 写真情報</p> <p>E 施工管理値</p> <p>F 共通項目</p> <p>G 黒板色</p> <p>H 設定、保存ボタン</p>

【画面項目説明】

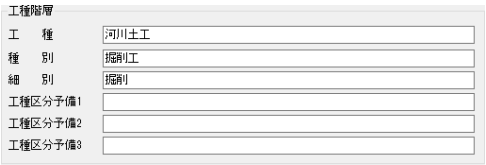
A 黒板プレビュー部

イメージ	項目名	設定内容
		<p>各項目は、B 以降の各入力部で入力した内容がプレビューに反映表示されます。</p> <p>また、項目の内容をクリックすると入力が可能です。</p>

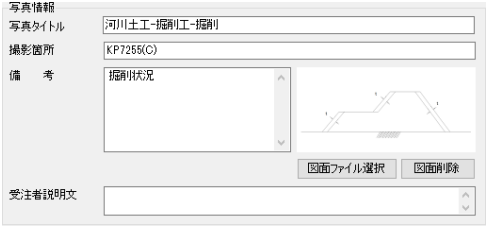
B 写真分類

イメージ	項目名	設定内容
	写真大分類	<p>写真大分類を選択します。</p> <p>設定した内容は写真情報に設定されます。</p>  <p>※写真追加時の自動振分情報にも適用されます。</p>
	写真区分	<p>写真区分を選択します。</p> <p>設定した内容は写真情報に設定されます。空白とした場合は、写真管理ツールで設定する必要があります。</p>  <p>※写真追加時の自動振分情報にも適用されます。</p>

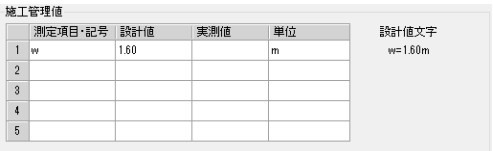
C 工種階層

イメージ	項目名	設定内容
	工種	<p>工種をテキスト入力します。入力した内容は、写真情報に設定されます。写真管理から作成した場合は、自動で設定されています。修正も可能です。</p> <p>※写真追加時の自動振分情報にも適用されます。</p>
	種別	<p>種別をテキスト入力します。入力した内容は、写真情報に設定されます。写真管理から作成した場合は、自動で設定されています。修正も可能です。</p> <p>※写真追加時の自動振分情報にも適用されます。</p>
	細別	<p>細別をテキスト入力します。入力した内容は、写真情報に設定されます。写真管理から作成した場合は、自動で設定されています。修正も可能です。</p> <p>※写真追加時の自動振分情報にも適用されます。</p>
	工事区分予備 1	<p>必要に応じてテキスト入力します。入力した内容は、写真情報に設定されます。</p> <p>※写真追加時の自動振分情報にも適用されます。</p>
	工事区分予備 2	
	工事区分予備 3	

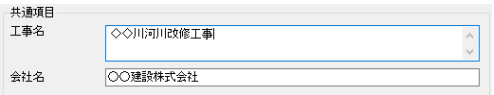
D 写真情報

イメージ	項目	設定内容
	写真タイトル	写真タイトルをテキスト入力します。入力した内容は、写真情報に設定されます。 ※写真追加時の自動振分情報にも適用されます。
	撮影箇所	撮影箇所をテキスト入力します。入力した内容は、写真情報に設定されます。 ※写真追加時の自動振分情報にも適用されます。
	備考	備考をテキスト入力します。入力した内容は、写真情報(撮影情報予備 2)に設定されます。 ※写真追加時の自動振分情報にも適用されます。
	図面ファイル選択	豆図などの画像ファイルを選択すると、黑板上の画像表示枠内に表示されます。 図面プレビューエリアをクリックし[Ctrl]キー+[V]または右クリックし「貼り付け」を押すとコピーしている画像を張り付けることができます。
	図面削除	設定している画像ファイルを削除します。 または図面プレビューエリアをクリックし[Delete]キーを押すことでも画像ファイルを削除できます。
	受注者説明文	受注者説明文をテキスト入力します。入力した内容は、写真情報に設定されます。 ※写真追加時の自動振分情報にも適用されます。


E 施工管理値

イメージ	項目	設定内容
	測定項目・記号	測定項目、または記号をテキスト入力します。 黒板表示に利用されるため、測定項目または記号のいずれかを入力することをおすすめします。 入力された内容は写真情報に反映されます。
	設計値	設計値をテキスト入力します。 入力された内容は写真情報に反映されます。
	実測値	実測値をテキスト入力することも可能です。 入力された内容は写真情報に反映されます。 ※実際は土木版カメラアプリで写真撮影の際に入力します。
	単位	設計値／実測値の単位を選択します。 <div data-bbox="869 775 1038 1021"> m cm mm m² a ha m³ t kg g </div> 直接入力も可能です。 入力された内容は写真情報に反映されます。


F 共通項目

イメージ	項目	設定内容
	工事名	工事名をテキスト入力します。 自動で設定されています。
	会社名	会社名(受注者)をテキスト入力します。 工事情報に設定されていた場合は自動設定されています。

G 黒板色


イメージ	項目	設定内容
	初期設定	初期設定の状態に戻します。 パターンは、 文字 です
	文字	背景色と文字色のパターンを選択します。
	文字	
	文字	
	文字	

H 設定、保存ボタン

イメージ	項目	設定内容
	入力可能領域表示	黒板プレビュー画面に文字入力可能なエリアを枠線で囲みます。
	表示設定	黒板の文字色、文字サイズなどの設定画面を表示します。
	前へ、次へ	複数の黒板編集時に、編集対象の黒板を変更することができます。
	保存	編集した内容を保存します。
	編集終了	黒板の編集画面を閉じます。

1-3. 黒板の表示設定を変更する

黒板の編集画面から「表示設定(V)...」ボタンをクリックし設定画面を表示し、項目名の変更、文字サイズ、文字の配置位置、文字色の設定を行うことができます。

画面イメージ	項目
	<p>① ラベル項目の「項目名」「文字サイズ」を変更する場合は「ラベル項目名一覧」から変更したい項目名を選択します。</p> <p>※位置、文字色は編集できません。</p> <p>② 表示項目名の「文字サイズ」「位置」「文字色」を変更する場合は「表示項目一覧」から変更したい項目名を選択します。</p> <p>※項目名は編集できません。</p> <p>③ ①または②で項目名を選択し、「項目名」「文字サイズ」「位置」「文字色」の設定を行います。</p> <p>全ての設定を初期設定に戻したい場合は「初期設定に戻す」ボタンを押します。</p> <p>※[黒板に項目を表示する。]は撮影時間・撮影日時のみ変更可能。</p>
	<p>④ 設定画面でOKボタンを押すと設定を適用する範囲を選択する画面が表示されます。</p> <p>編集中の黒板のみに適用する場合は、「この黒板にのみ反映」、編集中の黒板と同じレイアウトを使った黒板に適用する場合は「この黒板のテンプレートに反映」を選択します。</p> <p>「OK」ボタンで、設定が反映されます。</p>

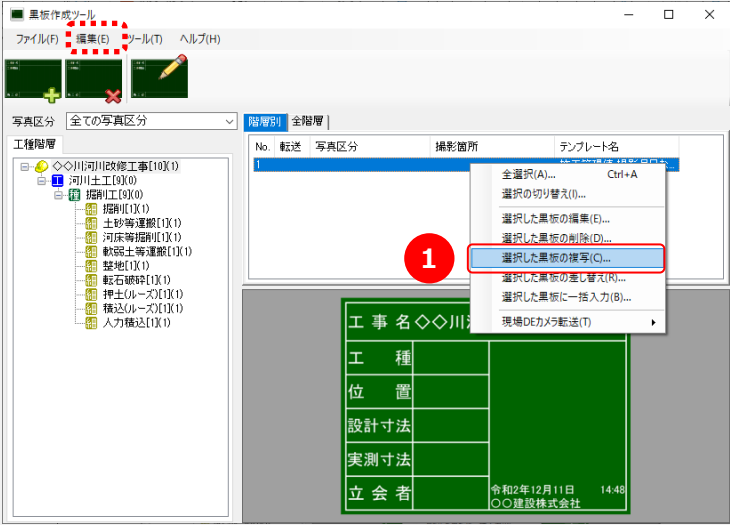
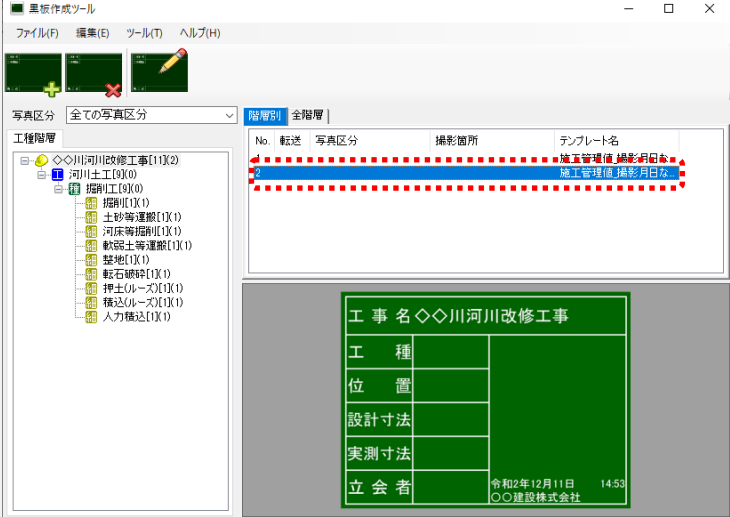
1-4. 黒板を削除する

選択中の黒板を削除します。

画面イメージ	項目
	<p>① 削除したい黒板を選択（複数選択可能）し、右クリックメニュー「選択した黒板の削除（D）」を押します。</p> <p>※黒板を選択した状態で</p> <ul style="list-style-type: none"> ●  ボタンをクリック ● メニューバーの「編集」 ● キーボードの Delete キーを押す <p>でも同じ動作をします。</p>
	<p>② 確認メッセージが表示されるので「はい」を押します。</p>
	<p>③ 選択した黒板が削除されます。</p>


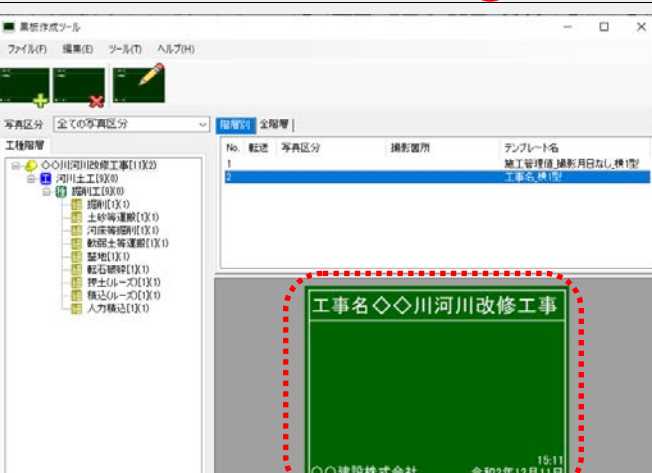
1-5. 黒板を複写する

選択中の黒板を複写します。

画面イメージ	項目
	<p>④ 複写したい黒板を選択（複数選択可能）し、右クリックメニューの「選択した黒板の複写 (C)」をクリックします。</p> <p>※黒板を選択した状態で</p> <p>●メニューバーの「編集」でも同じ動作をします。</p>
	<p>① 選択した黒板が複写されます。</p>

1-6. 黒板のレイアウトを差し替える


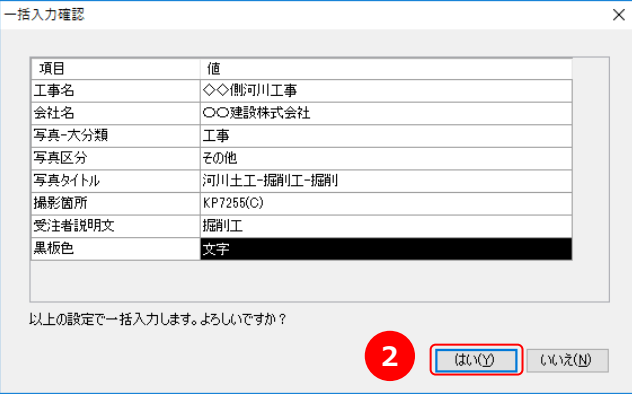
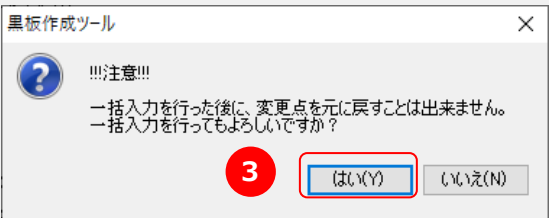
選択中の黒板のレイアウトを差し替えます。

画面イメージ	項目
	<p>① レイアウトを差し替えたい黒板を選択（複数選択可能）し、右クリックメニューの「選択した黒板の差し替え（R）」をクリックします。</p> <p>※黒板を選択した状態で</p> <p>●メニューバーの「編集」でも同じ動作をします。</p>
	<p>② 黒板レイアウトの選択画面が表示されます。任意の黒板レイアウトを選択します。</p> <p>※複数選択はできません。</p> <p>③ 「選択(S)」ボタンをクリックします。</p>
	<p>④ 選択した黒板のレイアウトが差し替えられます。</p>

1-7. 黒板の情報を一括入力する




複数の黒板に対して同じ内容の情報を入力したい場合は一括入力機能を使用します。

メイン画面で対象の黒板を複数選択し、「編集(E)」メニューの「選択した黒板に一括入力(B)」または、右クリックメニュー「選択した黒板に一括入力(B)」を実行します。

画面イメージ	項目
	<p>① 一括で入力したい情報を入力後、「適用(A)」ボタンを押します。</p>
	<p>② 確認画面で、一括入力する内容を確認し問題が無ければ「はい(Y)」ボタンを押します。</p>
	<p>③ 確認メッセージが表示されます。 「はい」を押すと適用されます。 「いいえ」を押すと一括入力画面へ戻ります。 以上で一括入力は完了です。</p>

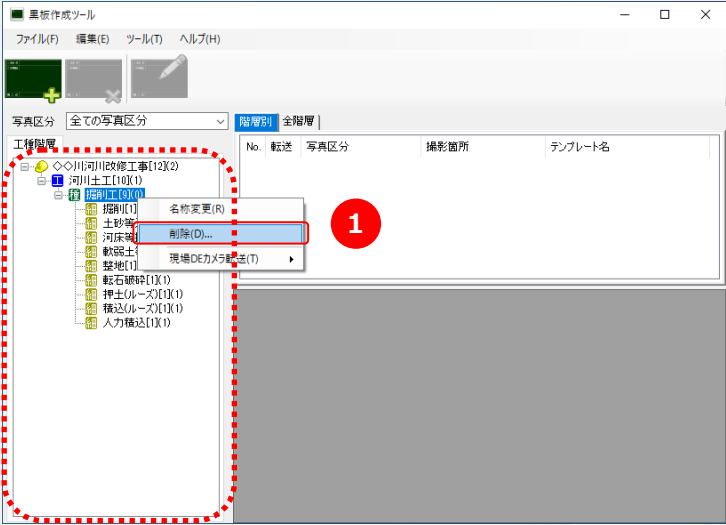
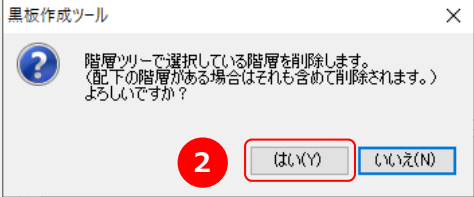

1-8. 工種階層の名称を変更する

選択した工種階層の名称を変更します。

画面イメージ	項目
	<p>① 名称を変更したい階層を選択し、右クリックメニュー「名称変更 (R)」を押します。</p> <p>※工種階層をダブルクリックすることでも同じ動作をします。</p>
	<p>② 工種階層欄が入力可能になります。</p>
	<p>③ 任意の名称を入力し、キーボードの Enter キーを押すまたは、他のエリアをクリックすることで入力が確定します。</p> <p>階層配下のすべての黒板にも反映されます。</p> <p>※空欄・水平タブは入力できません。</p> <p>※キーボードの ESC キーを押すと入力がキャンセルされます。</p>

1-9. 工種階層を削除する

選択中の工種階層ごと削除します。

画面イメージ	項目
	<p>① 削除したい階層を選択（複数選択可能）し、右クリックメニュー「削除（D）」を押します。</p>
	<p>② 確認メッセージが表示されるので「はい」を押します。</p>
	<p>③ 選択した階層が配下も含めて削除されます。</p> <p>※選択階層より上の階層に黒板データが存在しない場合は上の階層も削除されます。</p>

1-10. 黒板を土木版カメラアプリに転送する

必要な黒板一式を作成後、黒板データを土木版カメラアプリに転送します。転送する方法は2通りあります。

- ① Wi-Fi 転送
- ② iTunes や対応オンラインストレージ経由によるファイル転送

以降に各々の転送操作を説明します。

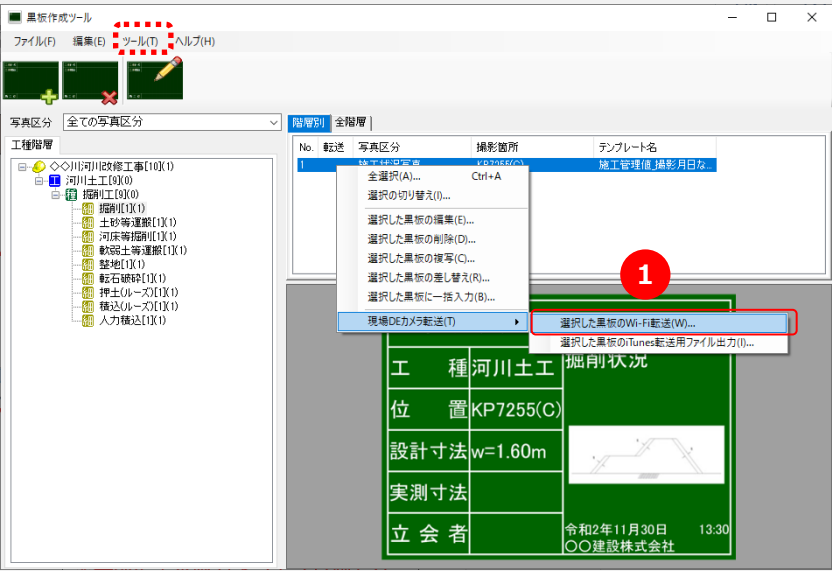
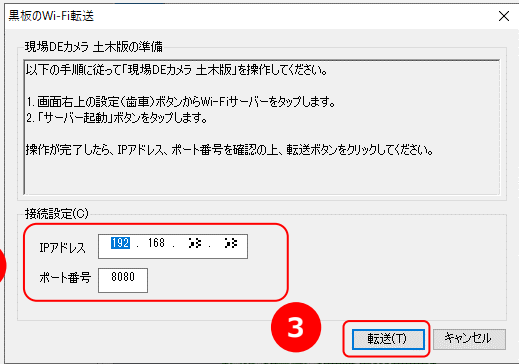
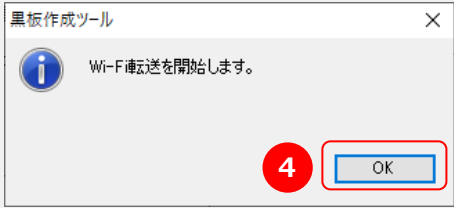
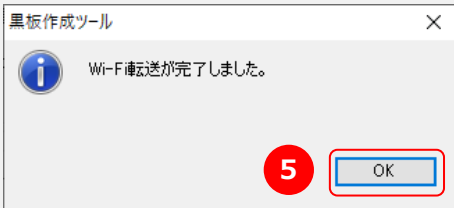
1.10.1. 黒板データ転送操作（Wi-Fi 転送）

Wi-Fi で黒板データを転送する場合は、使用する PC と土木版カメラアプリのインフラ環境が無線 LAN（Wi-Fi）環境である必要があります。また、データ転送する際は、事前に土木版カメラアプリでサーバー起動をしておく必要があります。

事前に土木版カメラアプリで
サーバー起動

黒板作成ツールでサーバーに
接続してデータ転送

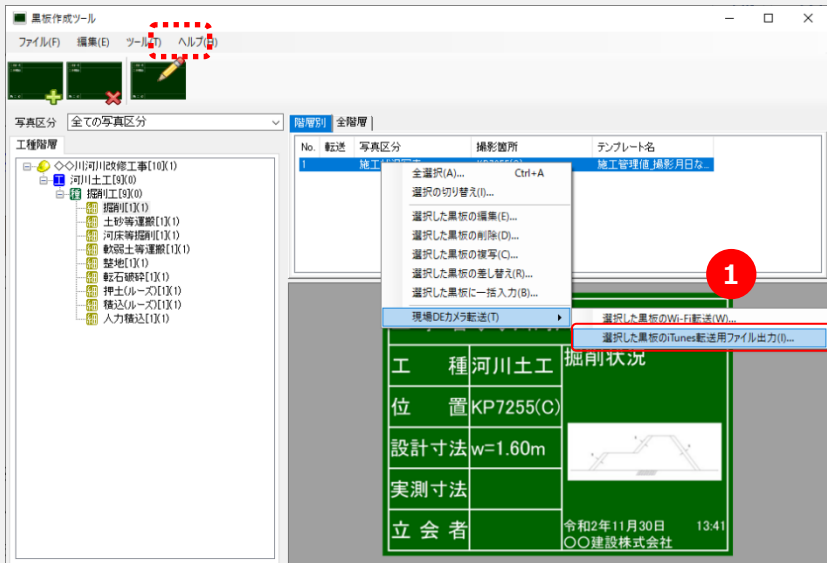
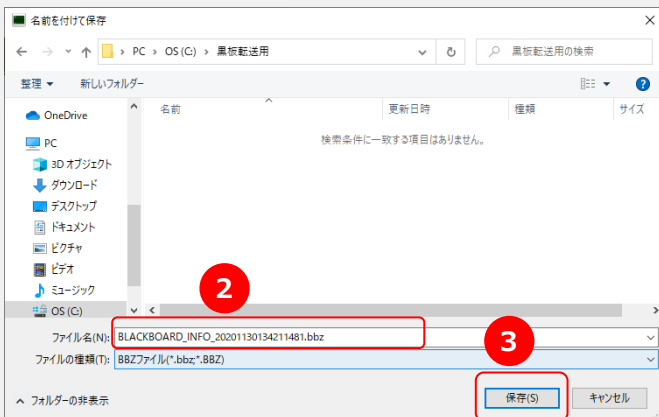


画面イメージ	項目
	<p>① 転送対象の黒板を選択して、右クリックメニュー「現場 DE カメラ転送(T)」のサブメニュー「選択した黒板の Wi-Fi 転送(W)」を選択します。</p> <p>※黒板を選択した状態でメニューバーの「ツール」からでも同じ動作をします。</p> <p>※黒板を複数選択することも可能です。</p> <p>※工種階層を選択して右クリックメニュー「現場 DE カメラ転送(T)」のサブメニュー「指定階層以下の黒板を Wi-Fi 転送(W)」からでも同じ動作をします。</p> <p>※事前に土木版カメラアプリ側でサーバー起動してください。</p>
	<p>② 土木版カメラアプリに表示されている IP アドレス、ポート番号を入力します。</p> <p>③ 「転送(T)」ボタンをクリックします。</p>
	<p>④ Wi-Fi 転送開始メッセージで「OK」ボタンをクリックします。</p>
	<p>⑤ Wi-Fi 転送完了メッセージで「OK」ボタンをクリックします。</p> <p>以上で黒板データの Wi-Fi 転送は完了です。</p>

1.10.2. 黒板データ転送操作（iTunes で転送）

Wi-Fi 転送が行えない場合などに黒板データを転送する場合は、iTunes やオンラインストレージを利用して黒板転送を行うことが可能です。

iTunes のインストールについては、Apple の Web ページ(<https://www.apple.com/jp/>)をご覧ください。

画面イメージ	項目
	<p>① 転送対象の黒板を選択して、右クリックメニュー「現場 DE カメラ転送(T)」のサブメニュー「選択した黒板の iTunes 転送用ファイル出力(I)」を選択します。</p> <p>※黒板を選択した状態でメニューバーの「ツール」からでも同じ動作をします。</p> <p>※黒板を複数選択することも可能です。</p> <p>※工種階層を選択して右クリックメニュー「現場 DE カメラ転送(T)」のサブメニュー「指定階層以下の黒板を Wi-Fi 転送(W)」からでも同じ動作をします。</p> <p>※事前にデスクトップなどわかりやすい場所に専用フォルダを作成しておくくと便利です。</p>
	<p>② 黒板データを BBZ 形式で保存します。保存先のフォルダを選択してください。なお、ファイル名は任意のわかりやすい名前に変更することも可能です。</p> <p>③ 「保存(S)」ボタンをクリックします。オンラインストレージを利用する場合は、それぞれのオンラインストレージのアップロード手順に従い保存した bbz ファイルをアップロードしてください。</p>

画面イメージ

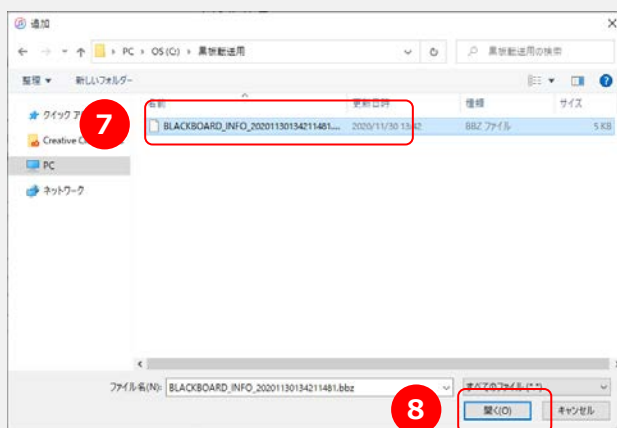
項目



④ iPad を PC に USB 接続すると、iTunes の画面が起動されます。同期完了後、画面左部のメニューより「ファイル共有」をクリックします。

⑤ 画面右部を下方向にスクロールすると「ファイル共有」が表示されます。「ファイル共有」の「App」一覧で「現場カメラ土木」を選択します。

⑥ 「ファイルを追加...」ボタンをクリックします。



⑦ 前述②で保存した黒板データ BBZ ファイルを選択します。

※複数選択可能です。

⑧ 「開く(O)」ボタンをクリックします。



⑨ “現場カメラ土木の書類”欄に選択したファイルが追加されます。この状態で、土木版カメラアプリを起動して「黒板リスト」を開くと、取り込み確認メッセージが表示されます。「取り込む」をタップすると、土木版カメラアプリ側で取り込みを開始します。

取り込みが終了すると、iTunes 側で表示されているファイル名が消去されます。

以上で、黒板データの iTunes 転送は終了です。

1-11. 黒板データの一覧を全階層で表示する

黒板データの一覧を全階層で表示する方法を説明します。


1.11.1. 黒板データ一覧を全階層で表示する

黒板データの一覧は全階層で表示することが可能です。

画面イメージ	項目
	<p>① タブを「階層別」から「全階層」に変更することで黒板データの一覧が全階層表示に切り替わります。</p> <p>※ツールバーの「表示」は全階層タブを選択している状態のときのみ表示されます。</p>
	<p>② 右クリックメニューまたはツールバー「表示」の「同じ階層を表示しない(I)」をクリックすると、一覧に表示されている同じ階層が非表示になります。</p>
	<p>③ 再度右クリックメニューまたはツールバー「表示」を開くと「同じ階層を表示(V)」に変更されるので押すことで全て表示します。</p>

1.11.2. 黒板データ一覧を絞り込む

全階層表示の時にそれぞれの項目で一覧を絞り込むことが可能です。

画面イメージ	項目
	<p>① タブを全階層表示に切り替え、ヘッダーの列を押すことで絞り込みダイアログが表示されます。</p> <p>※撮影箇所は絞り込み対象外です。</p>
	<p>② それぞれの絞り込みダイアログに絞り込みたい値のみチェックを付けて[設定] ボタンを押します。</p>
	<p>③ 一覧が絞り込まれます。</p>

1-12. 起動時のエラーについて

起動時のエラーについて記載します。

エラーメッセージ	内容
撮影リストの読み込みに失敗した為、起動できません。	不正なデータです。 最新版にアップデートしてください。
CSV の構成が不正です。	不正なデータです。 最新版にアップデートしてください。
古いバージョンの黒板作成ツールです。 最新バージョンの黒板作成ツールでデータを開きな おしてください。 対応する黒板作成ツールのバージョン：{0}	最新版にアップデートしてください。
CSV のバージョンが不正です。 最新バージョンの黒板作成ツールで開きな おしてください。 対応する黒板作成ツールのバージョン：{0}	最新版にアップデートしてください。
旧バージョンの黒板データです。データを変換して開 きますか？ ※変換すると Ver{0}より前の黒板作成ツールで開 けなくなります。	「はい」を押すとデータを現バージョンに更新 します。 以降旧バージョンで同じデータを開くことは できなくなります。 「いいえ」を押すとキャンセルしてツールを 終了します。

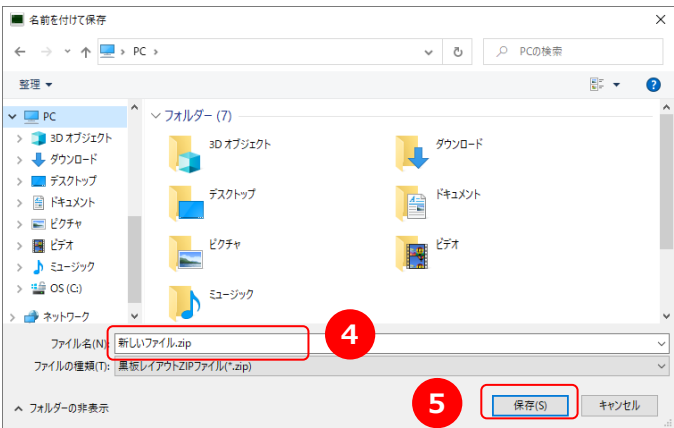
1-13. 黒板のレイアウト選択画面

黒板レイアウト選択画面にて、レイアウトの出力・取り込み・新規作成・編集・削除などが行えます。

1.13.1. レイアウトをエクスポート(出力)する


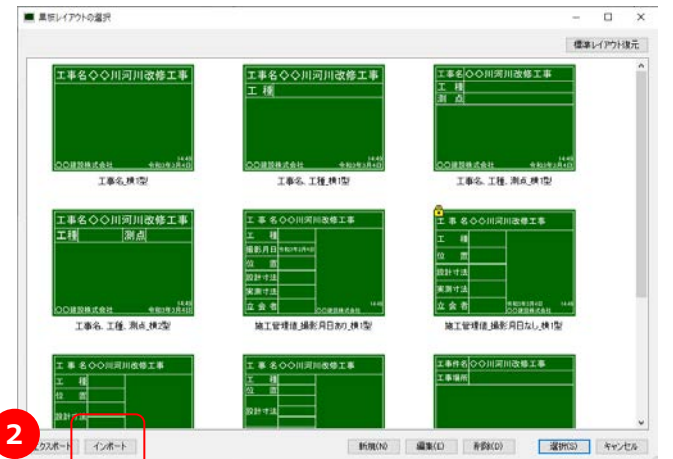
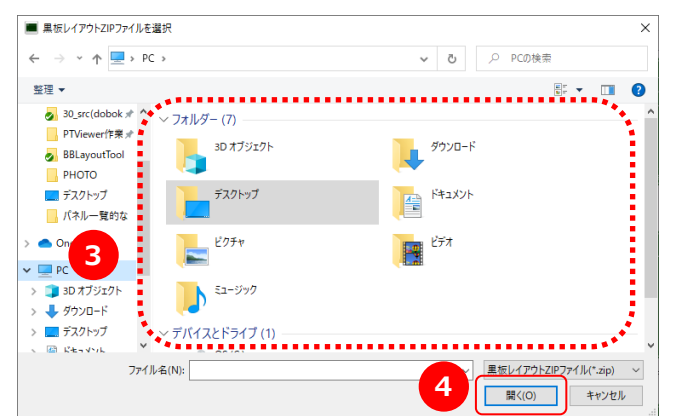
レイアウトのエクスポート(出力)について説明します。


画面イメージ	項目
	<p>① 黒板作成ツール画面の「黒板の新規作成」ボタンをクリックします。</p> <p>●メニューバーの「編集」「新規黒板作成」でも同じ動作をします。</p>
	<p>② 黒板レイアウトの選択画面が表示されます。「エクスポート」ボタンをクリックします。</p>
	<p>③ レイアウト一覧の左にチェック欄が表示されます。エクスポート(出力)したいレイアウトをクリックしチェックを入れて「実行」ボタンをクリックします。</p> <p>※キャンセルする場合は「実行」ボタンの右隣の「キャンセル」ボタンをクリックします。</p>

画面イメージ	項目
	<p>④ ファイル保存画面が表示されるので任意の名前・場所を指定します。</p> <p>⑤ 「保存(S)」ボタンをクリックすると指定した場所にファイルがエクスポート(出力)されます。</p>

1.13.2. レイアウトをインポート(取り込み)する



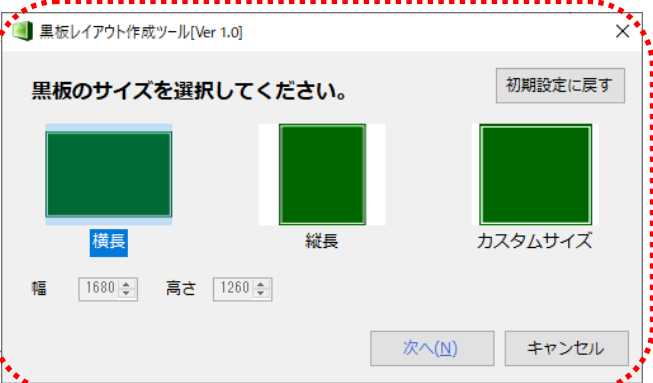
レイアウトのインポート(取り込み)について説明します。

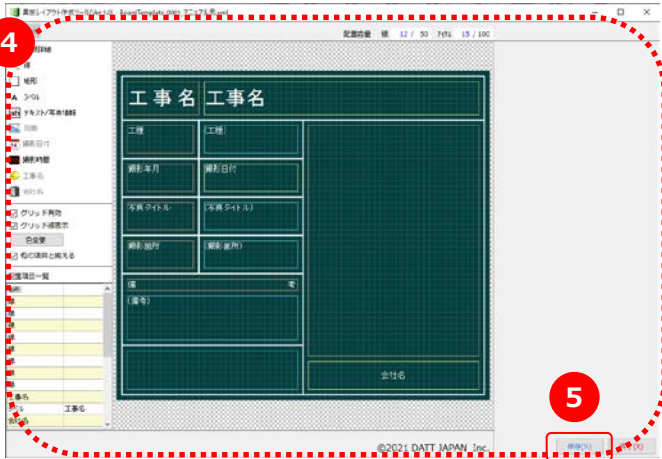
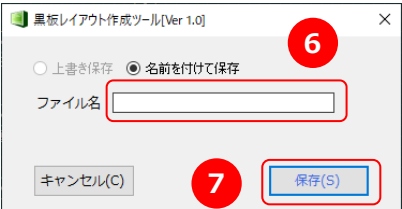


画面イメージ	項目
	<p>① 黒板作成ツール画面の「黒板の新規作成」ボタンをクリックします。</p> <p>●メニューバーの「編集」「新規黒板作成」でも同じ動作をします。</p>
	<p>② 黒板レイアウトの選択画面が表示されます。「インポート」ボタンをクリックします。</p>
	<p>③ ファイル選択画面が表示されるので、エクスポートされたレイアウトファイル (zip ファイル) を選択します。</p> <p>④ 「開く(O)」ボタンをクリックするとインポート(取り込み)されます。</p>

画面イメージ	項目
	<p>⑤ 既に存在するレイアウトと同名のファイルがインポート(取り込み)された場合、ファイル名を変換し取り込みます。変換結果メッセージが表示されます。</p>

1.13.3. レイアウトを新規作成・編集する


レイアウトの新規作成・編集について説明します。

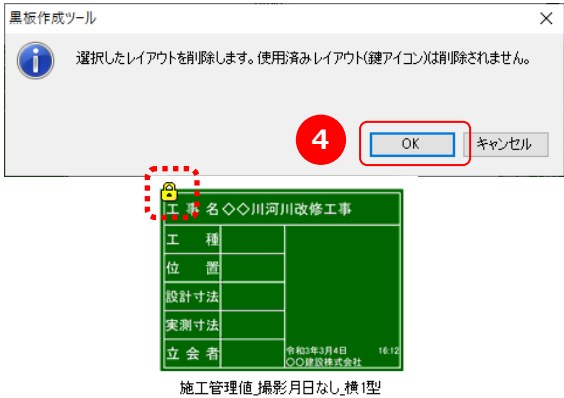
画面イメージ	項目
	<p>① 黒板作成ツール画面の「黒板の新規作成」ボタンをクリックします。</p> <p>●メニューバーの「編集」「新規黒板作成」でも同じ動作をします。</p>
	<p>② 黒板レイアウトの選択画面が表示されます。</p> <p>新規作成する場合は「新規(N)」ボタン、編集する場合は「編集(E)」ボタンをクリックします。</p> <p>※新規作成でレイアウトを選択した場合、選択したレイアウトを元に新規作成します。</p> <p>※編集はレイアウトの選択が必須です。</p>
	<p>③ 黒板レイアウト作成ツールが起動します。</p> <p>※新規作成でレイアウト未選択時はサイズの指定画面が開きます。</p> <p>※レイアウト選択時は④のレイアウト作成・編集画面が開きます。</p>

画面イメージ	項目
	<p>④ レイアウト作成画面でレイアウトを作成・編集します。</p> <p>※黒板レイアウト作成ツールの操作については 1-14.黒板レイアウト作成ツールについてを参照ください。</p> <p>⑤ レイアウト作成後、「保存(S)」ボタンをクリックします。</p>
	<p>⑥ 任意のファイル名を入力します</p> <p>⑦ 「保存(S)」ボタンをクリックします。</p>
	<p>⑧ 「終了(X)」をクリックし黒板レイアウト作成ツールを閉じます。</p>
	<p>⑨ 黒板レイアウト選択画面にもどり、作成したレイアウトが追加されます。</p>

1.13.4. レイアウトを削除する


レイアウトの削除について説明します。

画面イメージ	項目
	<p>① 黒板作成ツール画面の「黒板の新規作成」ボタンをクリックします。</p> <p>●メニューバーの「編集」「新規黒板作成」でも同じ動作をします。</p>
	<p>② 黒板レイアウトの選択画面が表示されます。「削除 (D)」ボタンをクリックします。</p>
	<p>③ レイアウト一覧の左にチェック欄が表示されます。削除したいレイアウトをクリックしチェックを入れて「実行」ボタンをクリックします。</p> <p>※キャンセルする場合は「実行」ボタンの右隣りの「キャンセル」ボタンをクリックします。</p>

画面イメージ	項目
	<p>④ 確認メッセージが表示されます。「OK」をクリックするとレイアウトが削除され、レイアウト一覧が更新されます。</p> <p>※鍵アイコンは既に使用されているレイアウトに表示されます。</p> <p>※レイアウトは一度削除すると復元できません。</p>

1.13.5. 標準レイアウトを復元する

黒板作成ツールに標準搭載されたレイアウトを削除してしまった場合でもレイアウトの復元を行う事が可能です。
 なお、復元されるのは標準搭載されたレイアウトのみで、任意に追加したレイアウトはそのまま維持されます。

画面イメージ	項目
	<p>① 黒板作成ツール画面の「黒板の新規作成」ボタンをクリックします。</p> <p>●メニューバーの「編集」「新規黒板作成」でも同じ動作をします。</p>
	<p>② 黒板レイアウトの選択画面が表示されます。「標準レイアウト復元」ボタンをクリックします。</p>
	<p>③ 確認メッセージが表示されるので「OK」をクリックします。</p>
	<p>④ 標準で用意されているレイアウトを復元しレイアウト一覧を更新します。</p>

1-14. 黒板レイアウト作成ツールについて

黒板レイアウト作成ツールの使い方について説明します。

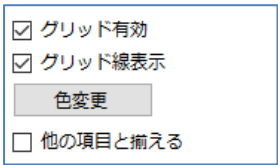
1.14.1. 画面項目の説明

画面イメージ	項目
	<p>A オブジェクト選択リスト</p> <p>B 黒板グリッド設定</p> <p>C 配置項目一覧</p> <p>D 黒板作成エリア</p> <p>E オブジェクトプロパティ</p> <p>F ボタンエリア</p> <p>G アンドウ・リドゥエリア</p> <p>H オブジェクト配置数エリア</p>

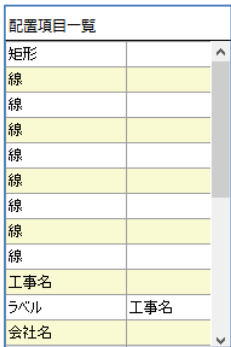
A オブジェクト選択リスト

イメージ	設定内容
	<p>新規で黒板に描画したい線・矩形・ラベル・テキスト等を選択します。選択後、[D 黒板作成エリア]にマウスで作成します。</p>


B 黒板グリッド設定

イメージ	設定内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・グリッド有効 : 線・矩形・ラベル・テキスト等描画する際にグリッド(格子)に沿って描画されます。 ・グリッド線表示 : 黒板にグリッドを描画します。 ・色変更 : グリッド線の色を変更します。 ・他の項目と揃える: 線・矩形・ラベル・テキスト等を移動する際に他の項目に一定距離近づくと吸着します。

C 配置項目一覧

イメージ	設定内容
	<p>作成した線・矩形・ラベル・テキスト等を修正する際に選択します。選択後、[D 黒板作成エリア]のオブジェクトを移動、または[E オブジェクトプロパティ]で詳細を変更します。</p>


D 黒板作成エリア

イメージ	設定内容
	<p>マウス（上下左右キー）操作で線・矩形・ラベル・テキスト等を描画・位置の調整を行います。</p>

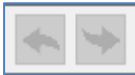


E オブジェクトプロパティ

イメージ	設定内容
-	<p>選択中のオブジェクトの長さや位置等の詳細を変更します。</p> <p>(詳細は 1.14.2. オブジェクトプロパティ詳細を参照)</p>

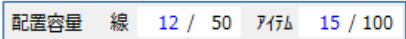
F ボタンエリア

イメージ	設定内容
	<p>保存: 作成した黒板の内容を保存します。</p> <p>終了: アプリケーションを終了します。</p>


G アンドゥ・リドゥエリア

イメージ	設定内容
	<p> アンドゥ: 移動や色の変更後、直前の操作を取り消して元の状態に戻します。(Ctrl+z)</p> <p> リドゥ : 移動や色の変更後、直前に取り消した処理をもう一度繰り返して実行します。(Ctrl+y)</p>

H オブジェクト配置数エリア

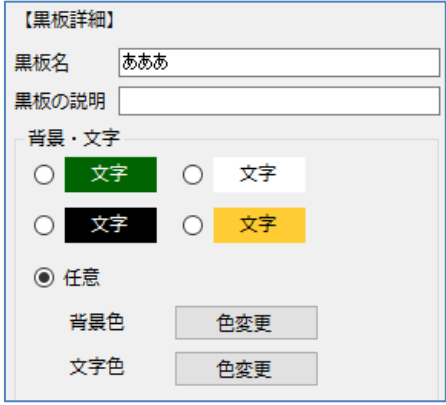
イメージ	設定内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板の上のオブジェクトの配置数を表示します。 <p>線 : 線・矩形の配置数を表示します。上限は50本になります。</p> <p>アイテム: 線以外のオブジェクト数の配置を表示します。上限は100個になります。</p>

その他

イメージ	設定内容
	<p>黒板の上のオブジェクトの選択時、右クリックでコピー(Ctrl+c)・貼り付け(Ctrl+v)・削除(Delete)が使用できます。</p>


1.14.2. オブジェクトプロパティ詳細

① 黒板詳細

イメージ	項目名	設定内容
	黒板名	黒板名称を入力します。(必須項目です)
	黒板の説明	黒板の説明を入力します。
	背景・文字	<p>黒板の背景色・文字色を変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 文字 (緑) ・背景：緑、文字：白 <input type="radio"/> 文字 (黒) ・背景：黒、文字：白 <input type="radio"/> 文字 (白) ・背景：黒、文字：白 <input type="radio"/> 文字 (黄) ・背景：黄、文字：黒 <p>・任意を選択すると、それぞれの色変更ボタンが活性化し、任意の値を指定することができます。</p>

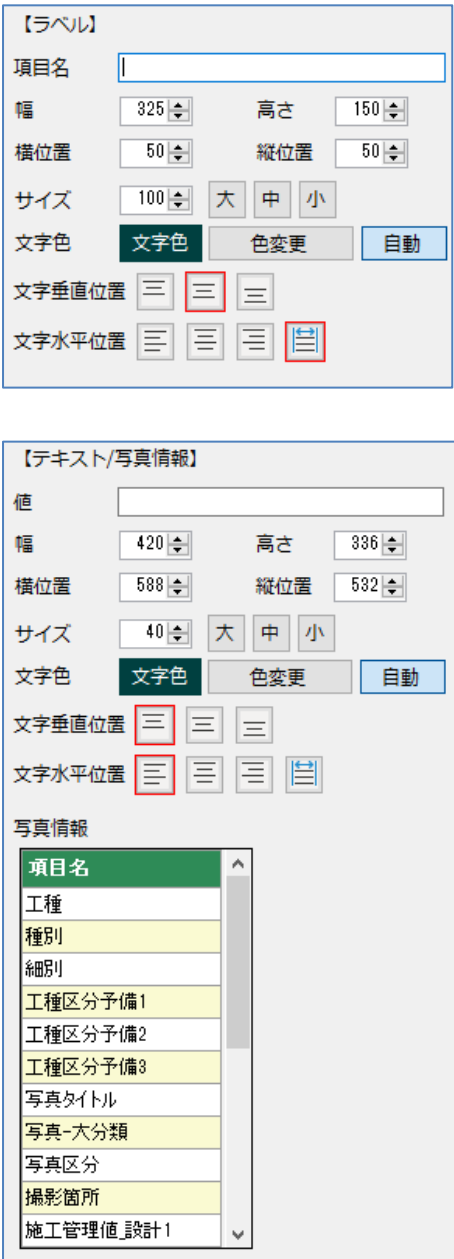
② 線

③ 矩形


イメージ	項目名	設定内容
	幅	図形の横幅を設定します。
	高さ	図形の高さを設定します。
	横位置	図形の横位置を設定します。
	縦位置	図形の縦位置を設定します。
	線の太さ	線の太さを三段階から選択します。
	線の色	<p>線の色を変更します。</p> <p>※[自動]は[①黒板詳細]で設定した文字色が自動的に設定されています。</p>

④ ラベル

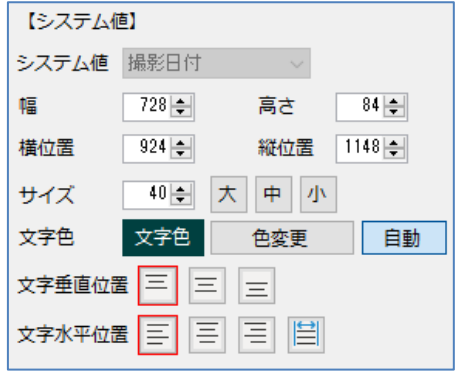
⑤ テキスト/写真情報

イメージ	項目名	設定内容
	項目名/値	<p>【ラベル】 黒板に表示する値を入力します。</p> <p>【テキスト/写真情報】 黒板に表示する値を入力します。自由入力もしくは下記写真情報から表示する値を選択することもできます</p>
	幅	図形の横幅を設定します。
	高さ	図形の高さを設定します。
	横位置	図形の横位置を設定します。
	縦位置	図形の縦位置を設定します。
	サイズ	フォントサイズを三段階から選択 または 手入力します。
	文字色	表示される文字の色を変更します。 ※[自動]は[①黒板詳細]で設定した文字色が自動的に設定されています。
	文字垂直地位	表示文字の垂直位置を設定します。(上寄せ／中央寄せ／下寄せ)
	文字水平位置	表示文字の水平位置を設定します。(左寄せ／中央寄せ／右寄せ／均等割付)
	写真情報	【テキスト/写真情報】 選択した値が表示されます。

⑥ 図面

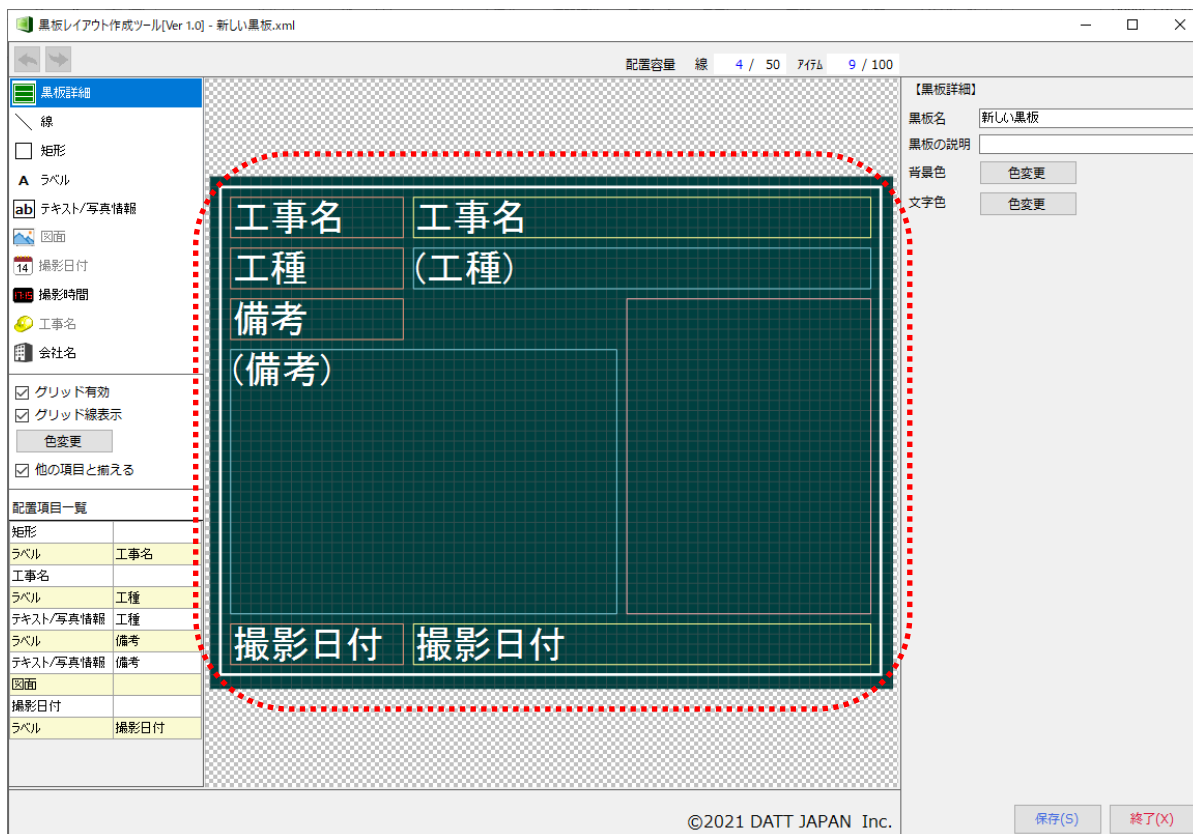
イメージ	項目名	設定内容
	幅	図形の横幅を設定します。
	高さ	図形の高さを設定します。
	横位置	図形の横位置を設定します。
	縦位置	図形の縦位置を設定します。
	垂直位置	画像の垂直位置を設定します。(上寄せ／中央寄せ／下寄せ)
	水平位置	画像の水平位置を設定します。(左寄せ／中央寄せ／右寄せ)

⑦ システム値

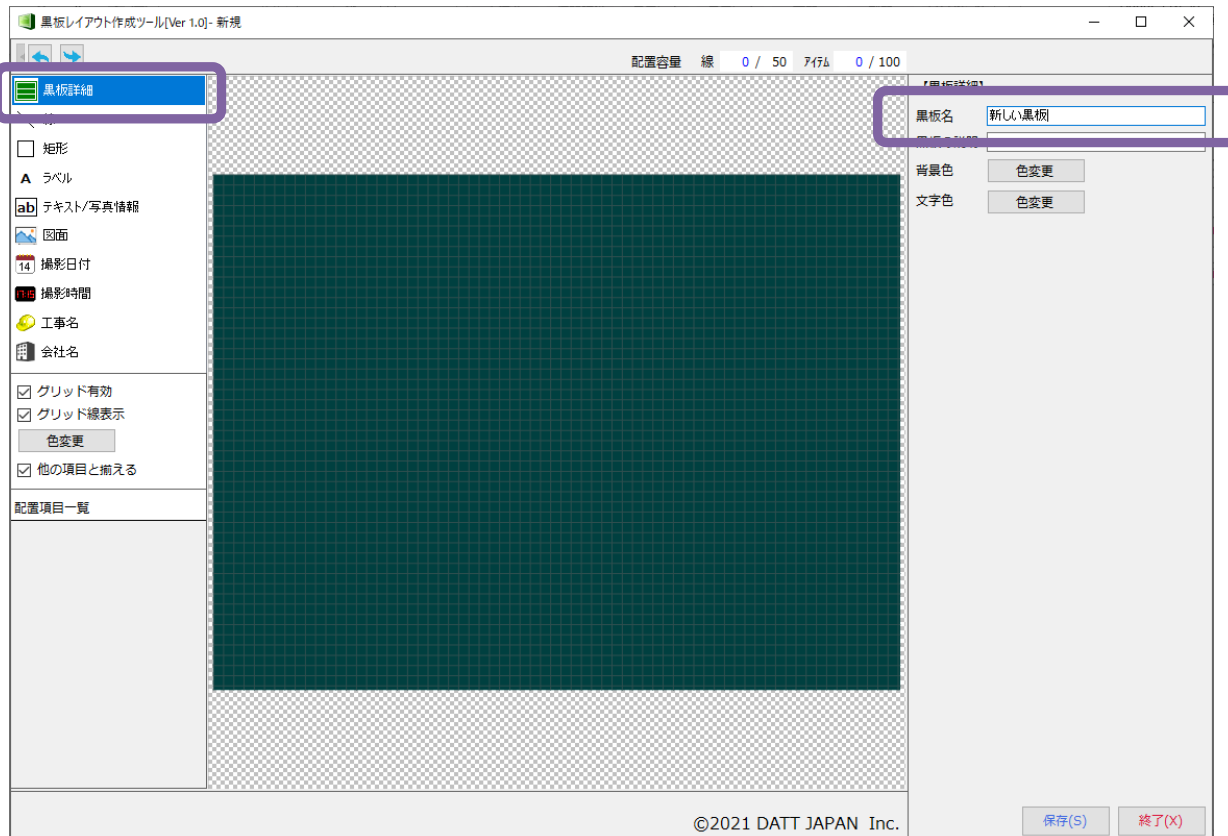
イメージ	項目名	設定内容
	システム値	システム値（撮影日／撮影時間／工事名／会社名）が表示されます。
	幅	図形の横幅を設定します。
	高さ	図形の高さを設定します。
	横位置	図形の横位置を設定します。
	縦位置	図形の縦位置を設定します。
	サイズ	フォントサイズを三段階から選択 または 手入力します。
	文字色	表示される文字の色を変更します。 ※[自動]は[①黒板詳細]で設定した文字色が自動的に設定されています。
	文字垂直位置	表示文字の垂直位置を設定します。(上寄せ／中央寄せ／下寄せ)
	文字水平位置	表示文字の水平位置を設定します。(左寄せ／中央寄せ／右寄せ／均等割付)

1.14.3. 黒板レイアウトを作成・編集する

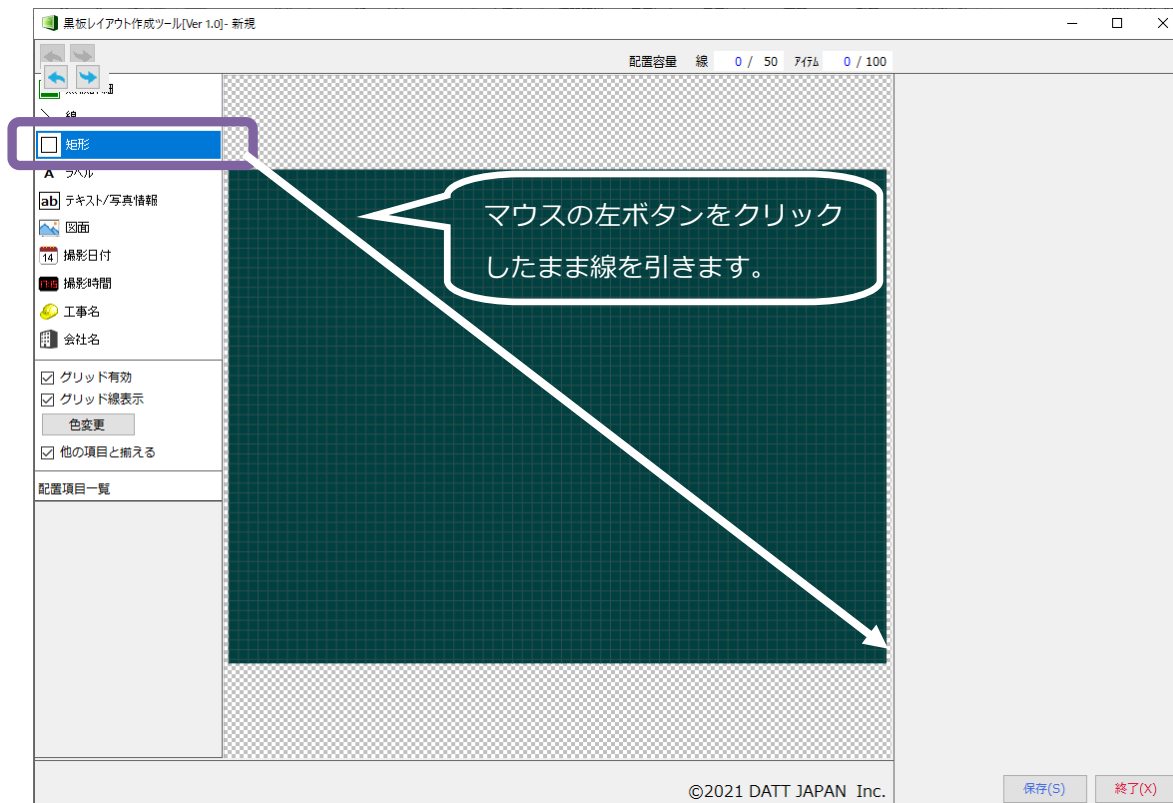
例として下記レイアウトの作成方法を説明します。



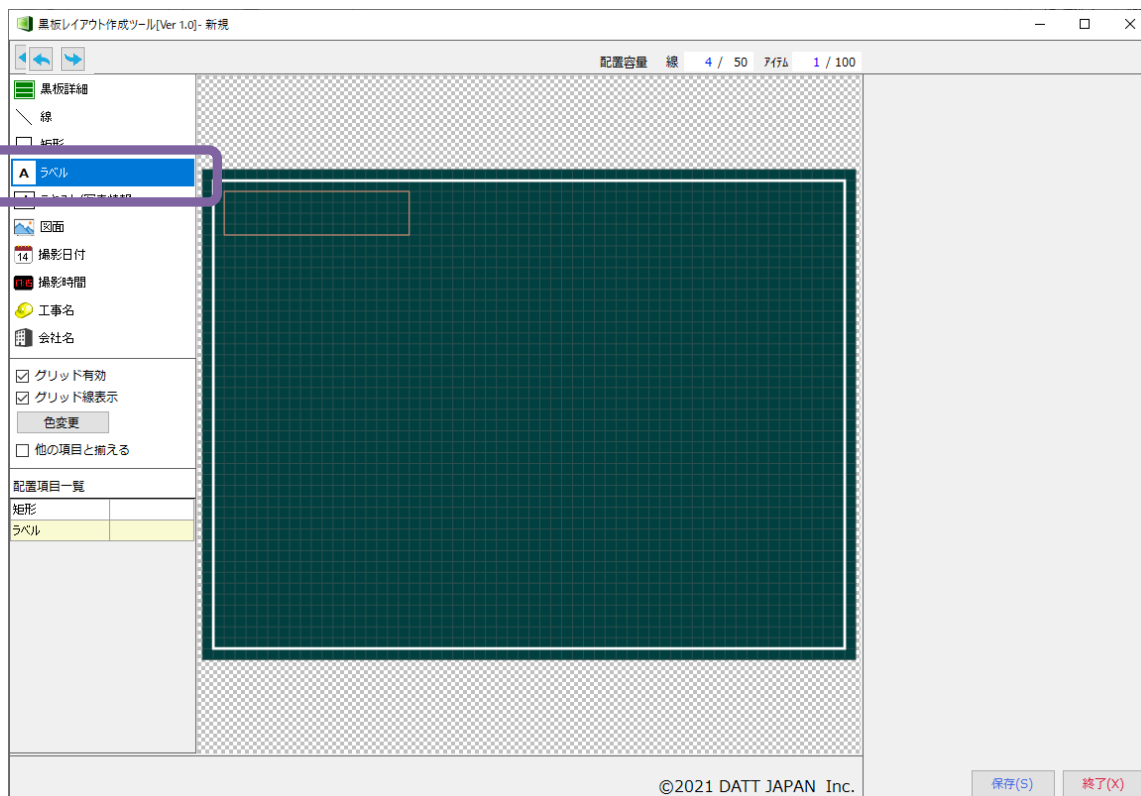
[オブジェクト選択リスト]から黒板詳細を選択し、黒板名を入力します。



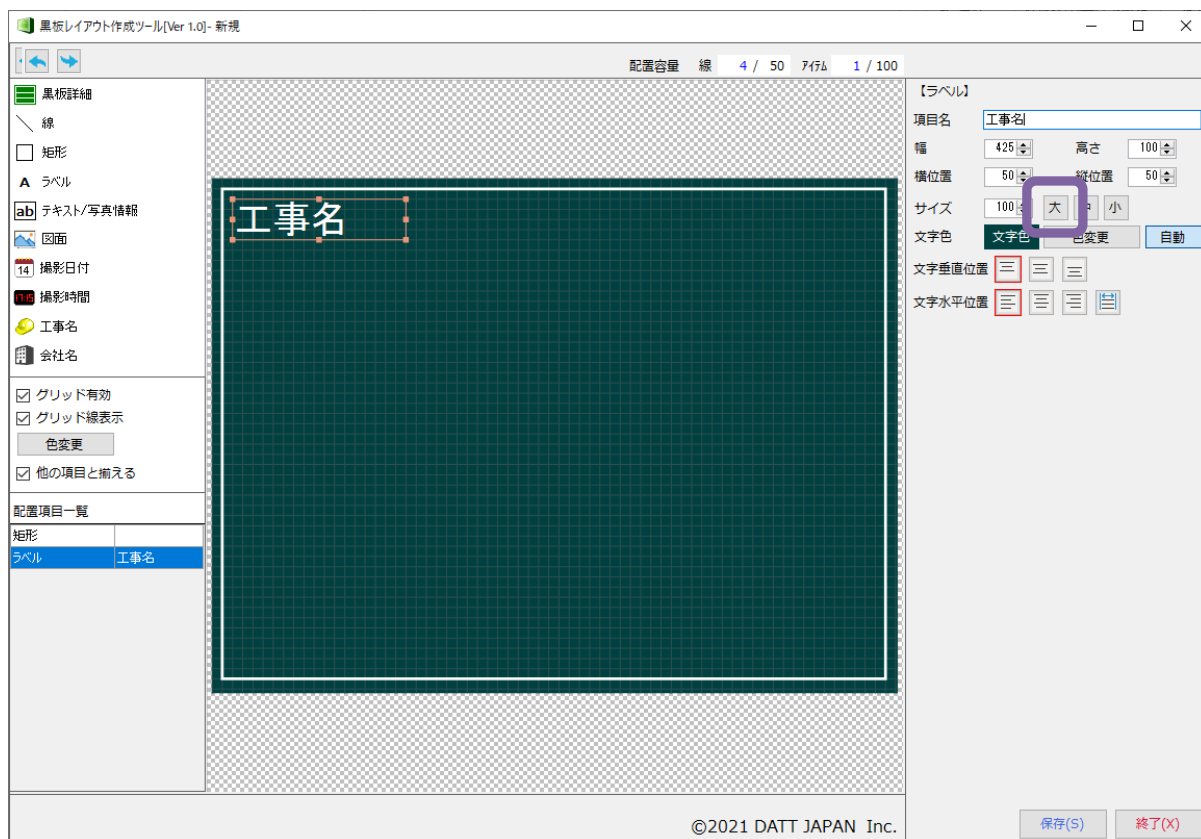
[オブジェクト選択リスト]から矩形を選択し、マウスで黒板に描画し黒板の枠を作成します。
(線を選択して描画でも可)



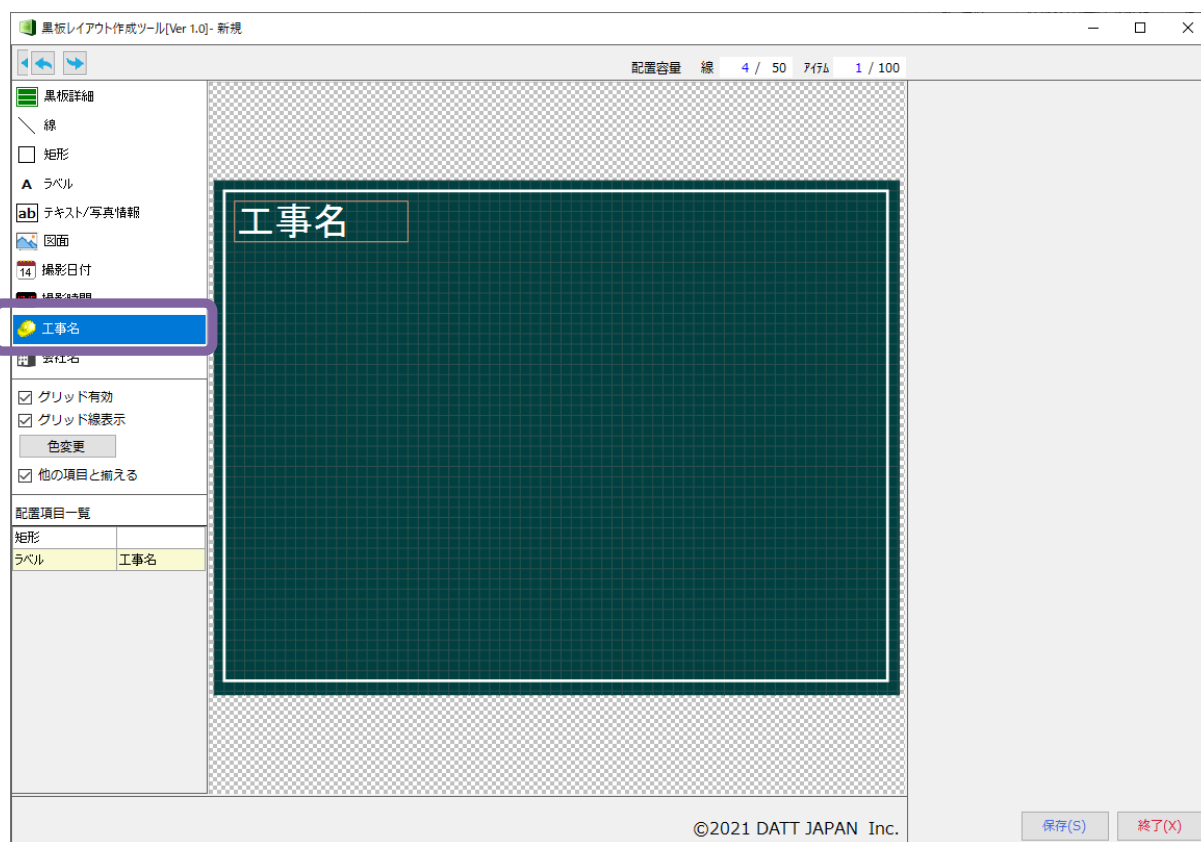
[オブジェクト選択リスト]からラベルを選択し、マウスで黒板に描画します。



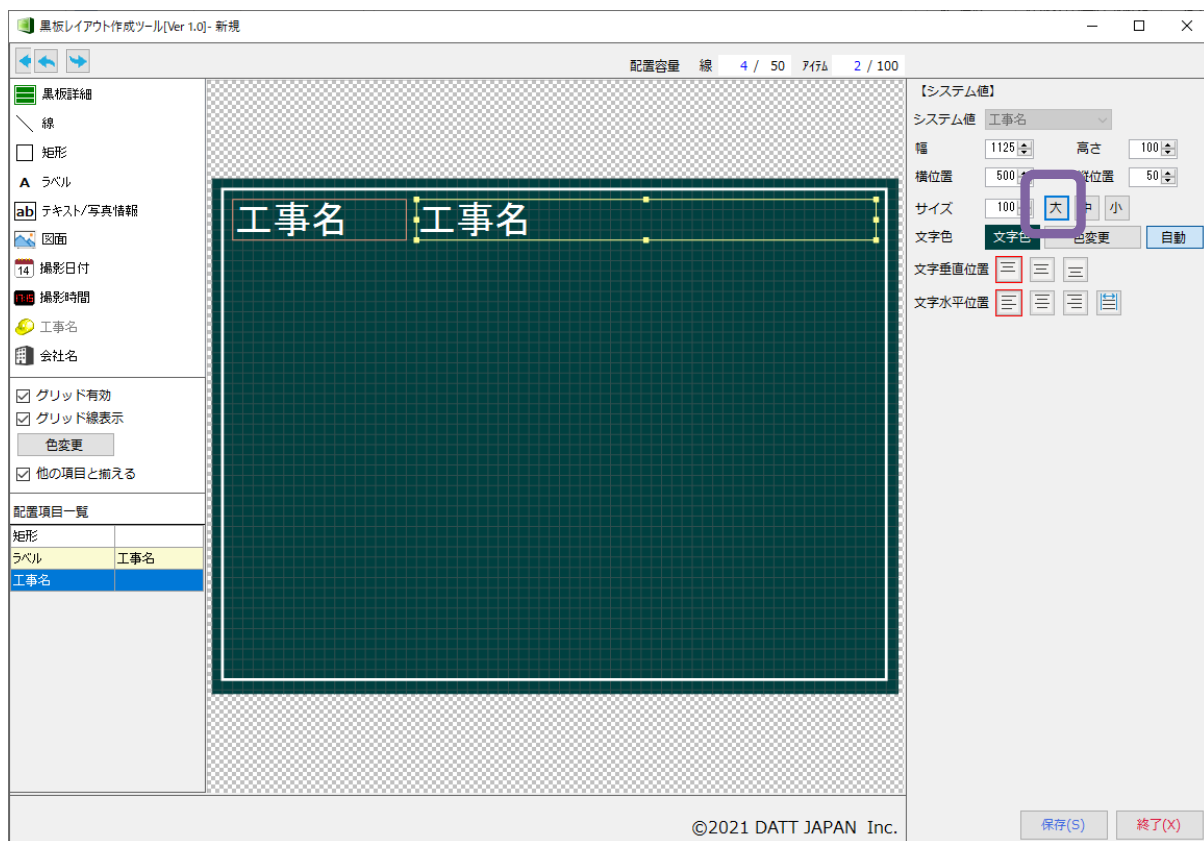
[オブジェクトプロパティ]からサイズ[大]をクリックし、値に「工事名」を入力します。



[オブジェクト選択リスト]から工事名を選択し、マウスで黒板に描画します。



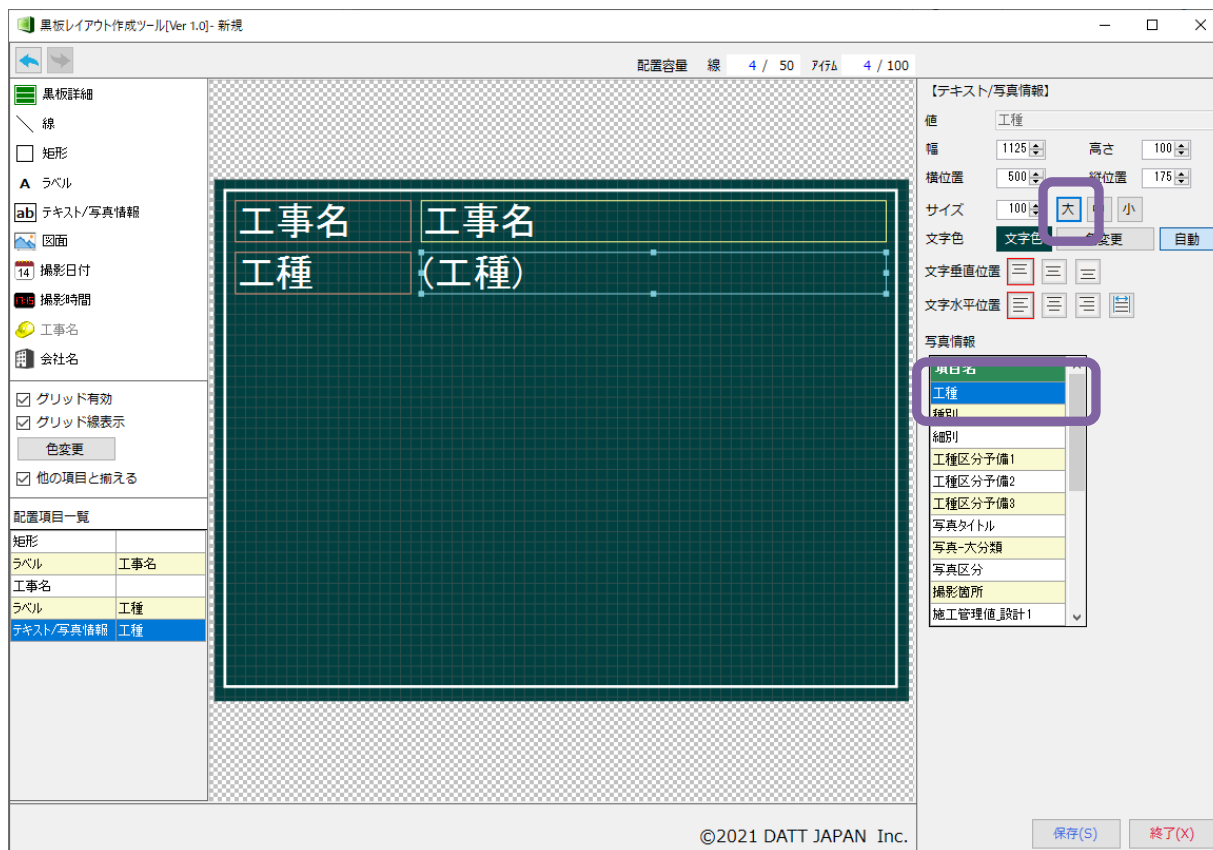
[オブジェクトプロパティ]からサイズ[大]を選択します。



同様に工種ラベルを描画した後、テキスト/写真情報を選択し、マウスで黒板に描画します。



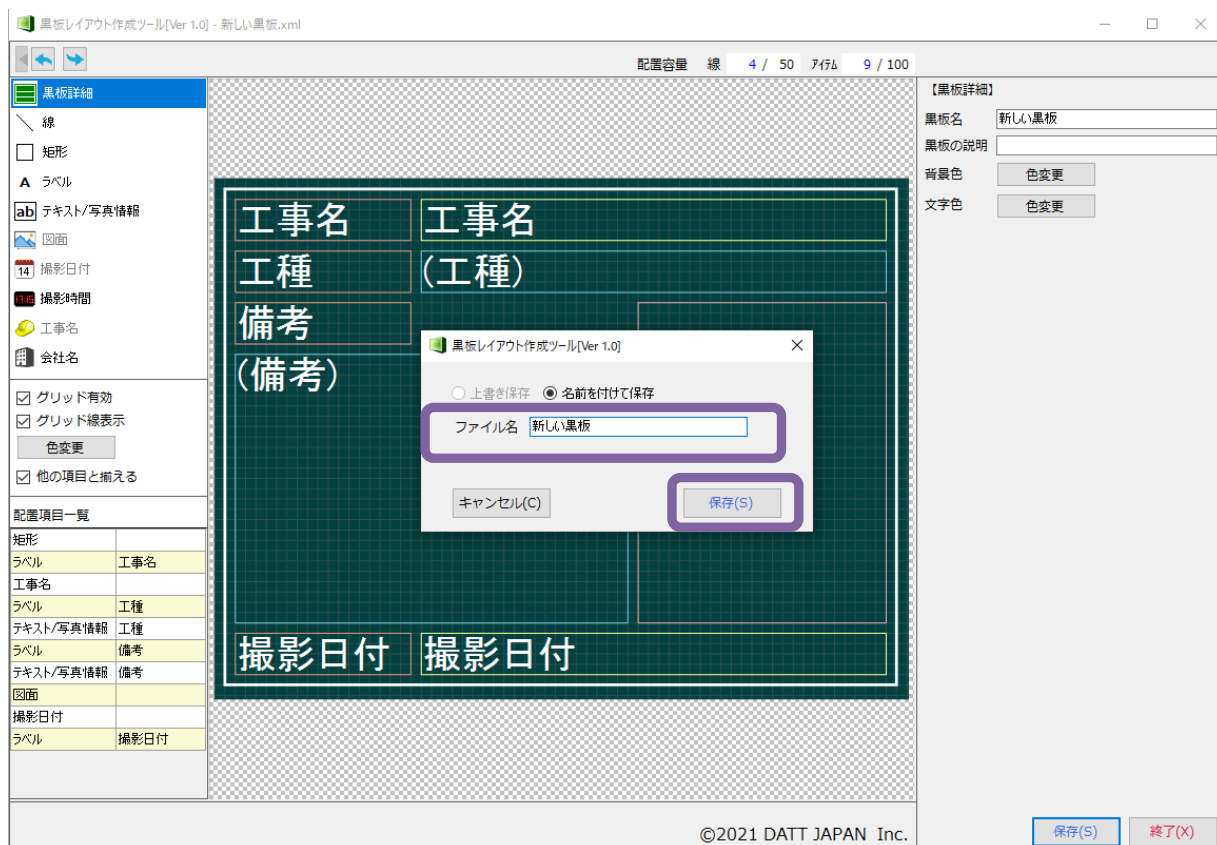
[オブジェクトプロパティ]からサイズ[大]をクリックし、写真情報の工種を選択します。



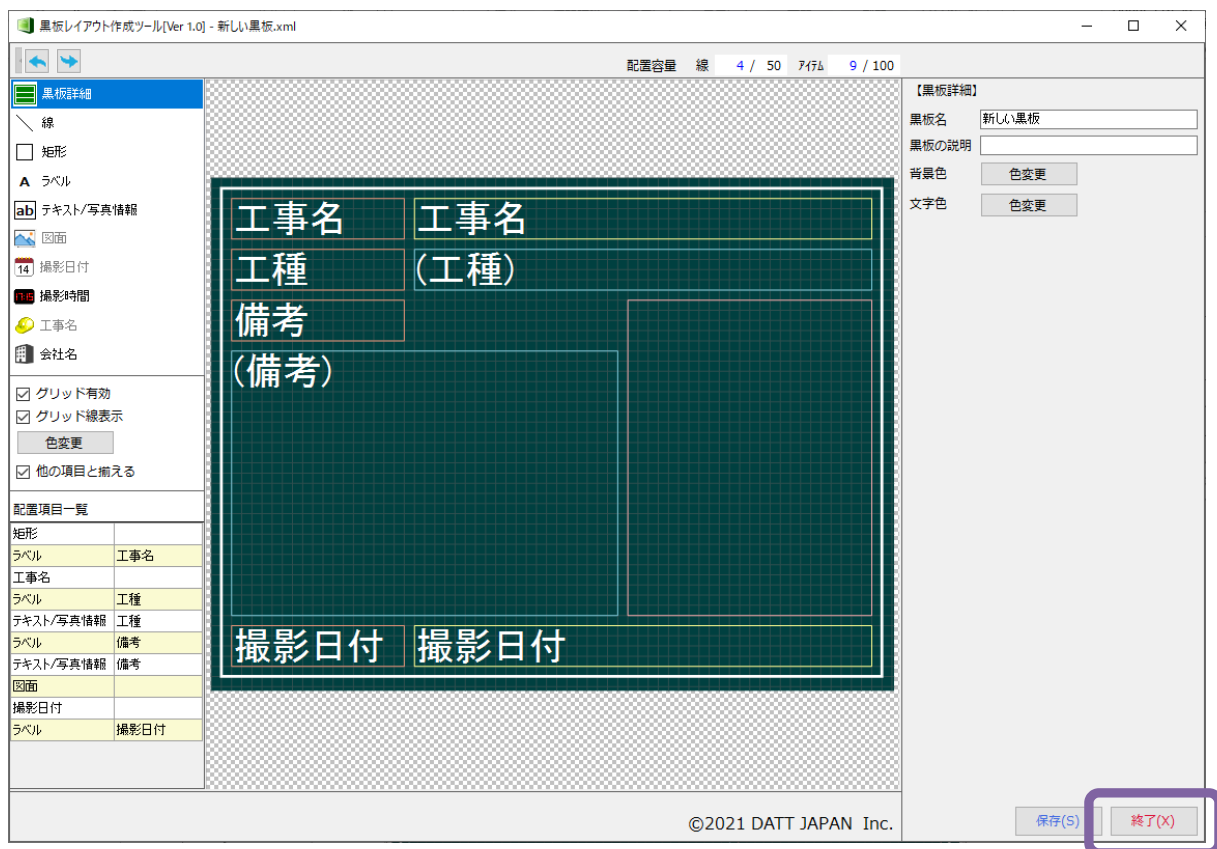
同様に備考・撮影日付などを同様に描画し、[保存]をクリックし保存します。



ファイル名を入力し、[保存]をクリックしファイルを保存します。



保存後、[終了]をクリックし、黒板作成ツールの黒板レイアウト選択画面へ戻ります。



保存したレイアウトが黒板レイアウト選択画面に表示されます。

現場編集長 CALSMaster
黒板作成ツールマニュアル